

#3

Docket No. 1086.1133 (JDH)

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:
Kazuhiko AKASAKA, et al.
Serial No.: To be assigned
Filed: January 18, 2001

Group Art Unit: Unassigned
Examiner: Unassigned



For: NETWORK SYSTEM, CLIENT, SERVER, AND RECORDING MEDIUM

**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55**

*Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231*

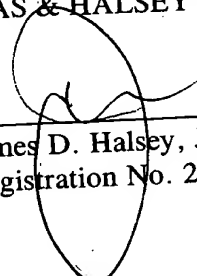
Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, the applicants submit herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2000-235710
Filed: August 3, 2000.

It is respectfully requested that the applicants be given the benefit of the foreign filing date as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,
STAAS & HALSEY LLP

By: 
James D. Halsey, Jr.
Registration No. 22,729

700 11th Street, N.W., Ste. 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500
Date: January 18, 2001

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

This is to certify that the annexed is a true copy of the following
application as filed with the Office.

3-888 U.S. PRO
09/761779
01/18/01

Date of Application : August 3, 2000

Application Number : Patent Application No. Heisei 2000-235710

Applicant (s) : FUJITSU LIMITED

October 27, 2000

Commissioner, Kohzoh Oikawa

Patent Office

Certificate No. Toku 2000-3088781

jc868 U.S. PTO
09/761779

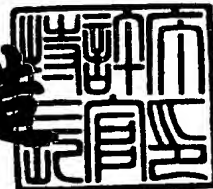
This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
at this Office.

願 人 富士通株式会社
Applicant(s):

**CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT**

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2000-3088781

【書類名】 特許願

【整理番号】 0051430

【提出日】 平成12年 8月 3日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 12/00

【発明の名称】 ネットワークシステム、クライアント、サーバ及び記録媒体

【請求項の数】 10

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

 【氏名】 赤坂 和彦

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

 【氏名】 岡 俊夫

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

 【氏名】 橋本 信幸

【特許出願人】

 【識別番号】 000005223

 【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100079359

 【住所又は居所】 東京都港区西新橋3丁目25番47号 清水ビル8階

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 竹内 進

 【電話番号】 03(3432)1007

【選任した代理人】

【識別番号】 100093584

【住所又は居所】 東京都港区西新橋 3 丁目 2 5 番 4 7 号 清水ビル 8 階

【弁理士】

【氏名又は名称】 宮内 佐一郎

【電話番号】 03(3432)1007

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 009287

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9704823

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ネットワークシステム、クライアント、サーバ及び記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項1】

クライアントとサーバで構成されるネットワークシステムに於いて、
前記クライアントに設けられ、ユーザ識別情報を使用した情報取得要求にて接続情報を前記サーバに要求し、その応答として受信する接続情報を設定する設定情報取得部と、

前記サーバに設けられ、前記クライアントから受信した前記ユーザ識別情報を用いて得られる接続情報をクライアントに送信する設定情報提供部と、
を備えたことを特徴とするネットワークシステム。

【請求項2】

ネットワークを介してサーバに接続されるクライアントに於いて、ユーザ識別情報を使用した情報取得要求にて接続情報を前記サーバに要求し、その応答として前記サーバから受信する接続情報を設定する設定情報取得部を備えたことを特徴とするクライアント。

【請求項3】

請求項2記載のクライアントに於いて、前記接続情報は前記クライアントから前記サーバにファイルを転送する際に用いられる情報であることを特徴とするクライアント。

【請求項4】

請求項2記載のクライアントに於いて、前記設定情報取得部は、ネットワークへの接続がダイヤルアップ接続の場合に、ダイヤルアップ接続の設定入力から前

記情報取得要求に使用するユーザ識別情報を取得することを特徴とするクライアント。

【請求項 5】

ネットワークを介してクライアントに接続されるサーバに於いて、前記クライアントから情報取得要求を受信すると共に受信したユーザ識別情報を用いて得られるクライアントで設定すべき接続情報をクライアントに送信する設定情報提供部を備えたことを特徴とするサーバ。

【請求項 6】

請求項 5 記載のサーバに於いて、前記接続情報は前記クライアントからファイルを転送する際に用いられる情報であることを特徴とするサーバ。

【請求項 7】

請求項 5 記載のサーバに於いて、ホームページの開設サービスを提供しており、前記クライアントからの情報取得要求を受信した際に、前記ユーザ識別情報を用いてホームページの開設処理を行った後に、要求された情報を前記クライアントに送信することを特徴とするサーバ。

【請求項 8】

ネットワークを介してサーバに接続されるコンピュータに、
ユーザ識別情報を使用した情報取得要求にて接続情報を前記サーバに要求し、
その応答として前記サーバから受信する接続情報を設定する、
ことを実行させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 9】

請求項 8 記載の記録媒体に於いて、前記接続情報は前記サーバに対してファイルを転送する際に用いられる情報であることを特徴とする記録媒体。

【請求項 10】

ネットワークを介してクライアントに接続されるコンピュータに、
 前記クライアントから情報取得要求を受信し、
 前記クライアントからユーザ識別情報を受信し、
 前記ユーザ識別情報を用いて得られるクライアントで設定すべき接続情報をクライアントに送信する、
 ことを実行させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、クライアントとサーバで構成されるネットワークシステム、クライアント、サーバ及び記録媒体に関し、特にクライアントからサーバに接続するために必要な接続情報の自動設定を可能とするネットワークシステム、クライアント、サーバ及び記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、ネットワークのサーバ上にあるユーザのホームページ領域にファイルを転送して公開する場合、まずユーザはクライアントからアカウントとパスワードを使ってサーバにログインする。このときホームページが未開設であれば、そのサーバログインに先立ってサーバの管理者、例えばネットワーク接続業者に対しホームページ領域の開設手続きを行い、一般的に、ファイル転送プロトコル（FTPプロトコル:File Transfer Protocol）に従ってファイルを転送するために必要な設定情報として、サーバ管理者から通知されたFTPサーバ名、FTPアカウント、FTPパスワードなどをユーザが設定し、ファイル転送を実行している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、ホームページ領域の開設手続きや事前に通知されるネットワークサー

バにアクセスするためのホームページのURL、ユーザの自作CGIのURL、FTPサーバ名、FTPアカウント、FTPパスワードなどのファイル転送プロトコル情報はユーザにはわかりづらい。しかし、ネットワーク上のサーバにアクセスするためには、これらの情報を正確に入力する必要がある。

【0004】

そのため入力に手間や時間がかかったり、入力ミスが発生したりする可能性があり、エラーが発生した場合、例えば入力ミスの場合には情報量が多いために間違いを探しづらく、その原因がわかりづらいという問題がある。

【0005】

本発明は、ユーザによる情報の設定を必要とすることなく、ホームページ領域等にファイルを転送して簡単且つ容易に公開可能とするネットワークシステム、クライアント、サーバおよび記録媒体を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

図1は、本発明の原理説明図である。

【0007】

(ネットワークシステム)

本発明のネットワークシステムは、図1(A)のように、クライアント10とサーバ12で構成されるネットワークシステムであって、クライアント10に設けられ、ユーザ識別情報を使用した情報取得要求にて接続情報をサーバ12に要求し、その応答として受信する接続情報を設定する設定情報取得部22と、サーバ12に設けられ、クライアント10から受信したユーザ識別情報を用いて得られる接続情報をクライアント10に送信する設定情報提供部34とを備えたことを特徴とする。

【0008】

ここで接続情報はクライアント10からサーバ12にファイルを転送する際に用いられる情報である。クライアント10の設定情報取得部22は、ネットワークへの接続がダイヤルアップ接続の場合に、ダイヤルアップ接続の設定入力から

情報取得要求に使用するユーザ識別情報を取得する。クライアント 1 0 の設定情報取得部 2 2 は、ネットワークへの接続がダイヤルアップ接続以外の場合には、ユーザから入力されるユーザ識別情報を情報取得要求に使用する。

【 0 0 0 9 】

このためユーザ登録を行っているサーバに対する例えばダイヤルアップ接続の設定入力があれば、ユーザのファイル転送の接続要求に対しダイヤルアップ接続の設定からアカウントとパスワード等のユーザ識別情報を取得し、サーバに送ってファイル転送プロトコル等の接続情報を自動取得して設定でき、サーバの登録ユーザはファイル転送プロトコルの接続情報の設定入力を行う必要がなくなり、ホームページ開設やホームページ更新のためのファイル転送を簡単且つ容易にできる。

【 0 0 1 0 】

クライアント 1 0 の設定情報取得部 2 2 は、設定されたメールアドレスからサーバ 1 2 の登録ユーザであることを認識した後にユーザ識別情報を使用した情報取得要求を行う。このためユーザはファイル転送を行う際に、サーバのユーザ登録の確認についても特別な操作は不要であり、ユーザのメールアドレスからサーバ登録されたユーザであること、即ちプロバイダの会員であることがクライアントで認識できる。

【 0 0 1 1 】

サーバ 1 2 はホームページの開設サービスを提供しており、クライアント 1 0 からの情報取得要求を受信した際に、ユーザ識別情報を用いてホームページの開設処理を行った後に、要求された情報をクライアント 1 0 に送信する。このためユーザはサーバに対するホームページ開設要求等の操作を必要とすることなく、クライアント上でホームページに公開するファイルを指定するだけで、ホームページが未開設であれば、サーバ側で自動的にホームページが開設され、そこにファイルを転送して公開できる。

【 0 0 1 2 】

サーバ 1 2 は、クライアントから情報取得要求を受信した際に、ユーザ識別情報で特定されるユーザに対応するホームページが未開設の場合には、開設処理を

行う。サーバ 1 2 のホームページ開設サービスは登録済みユーザに対して提供される。

【 0 0 1 3 】

クライアント 1 0 は、ファイルをサーバ 1 2 に転送する転送処理部を備え、ファイルを指定して送信操作が行われた際に、設定情報取得部 2 2 を起動してサーバから接続情報を取得し、転送処理部によりファイルを転送する。

【 0 0 1 4 】

クライアント 1 0 の設定情報取得部 2 2 とサーバ 1 2 の接続情報提供部 3 4 の間で接続情報の取得要求と応答をセキュリティ機能を有するプロトコルにて処理する。ユーザ識別情報はアカウント名とパスワードである。

【 0 0 1 5 】

(クライアント)

本発明はネットワークを介してサーバに接続されるクライアント 1 0 を提供する。このクライアント 1 0 は、ユーザ識別情報を使用した情報取得要求にて接続情報を前記サーバに要求し、その応答としてサーバから受信する接続情報を設定する設定情報取得部 2 2 を備えたことを特徴とする。接続情報はクライアント 1 0 からサーバにファイルを転送する際に用いられる情報である。

【 0 0 1 6 】

設定情報取得部 2 2 は、ネットワークへの接続がダイヤルアップ接続の場合に、ダイヤルアップ接続の設定入力から情報取得要求に使用するユーザ識別情報を取得する。設定情報取得部 2 2 は、ネットワークへの接続がダイヤルアップ接続以外の場合に、ユーザから入力されるユーザ識別情報を情報取得要求に使用する。

【 0 0 1 7 】

設定情報取得部 2 2 は、設定されたメールアドレスから前記サーバの登録ユーザであることを認識した後に前記ユーザ識別情報を使用した情報取得要求を行う。クライアント 1 0 は、更にファイルをサーバ 1 2 に転送する転送処理部を備え、ファイルを指定して送信操作が行われた際に、設定情報取得部 2 2 を起動して前記サーバから接続情報を取得し、転送処理部によりファイルを転送する。

【0018】

設定情報取得部22は、サーバ間との取得要求および接続情報の受信をセキュリティ機能を有するプロトコルにて処理する。ユーザ識別情報はアカウント名とパスワードである。

【0019】

(サーバ)

本発明はネットワークを介してクライアント10を接続されるサーバ12を提供する。本発明のサーバ12は、クライアント10から情報取得要求を受信すると共に受信したユーザ識別情報を用いて得られるクライアント10で設定すべき接続情報をクライアントに送信する設定情報提供部34を備えることを特徴とする。この接続情報はクライアント10からファイルを転送する際に用いられる情報である。

【0020】

サーバ12は、ホームページの開設サービスを提供しており、クライアント10からの情報取得要求を受信した際に、ユーザ識別情報を用いてホームページの開設処理を行った後に、要求された情報をクライアント10に送信する。

【0021】

サーバ12は、クライアント10から情報取得要求を受信した際に、ユーザ識別情報で特定されるユーザに対応するホームページが未開設の場合に、開設処理を行う。サーバ10のホームページ開設サービスは登録済みユーザに対して提供される。

【0022】

サーバ12の設定情報提供部34はクライアント間との取得要求の受信および接続情報の送信をセキュリティ機能を有するプロトコルにて処理する。ユーザ識別情報はアカウント名とパスワードである。

【0023】

(記録媒体)

本発明は、ネットワークを介してサーバに接続されるコンピュータに、ユーザ識別情報を使用した情報取得要求にて接続情報を前記サーバに要求し、その応答と

して前記サーバから受信する接続情報を設定する、ことを実行させるプログラム（サーバ用プログラム）を記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体を提供する。

【 0 0 2 4 】

記録媒体における接続情報はサーバに対してファイルを転送する際に用いられる情報である。記録媒体のプログラムは、コンピュータがネットワークへの接続にダイヤルアップ接続を利用する場合に、ダイヤルアップ接続の設定入力から情報取得要求に使用するユーザ識別情報を取得することを実行させる。

【 0 0 2 5 】

記録媒体のプログラムは、コンピュータがネットワークへの接続にダイヤルアップ接続以外を利用する場合に、ユーザから入力されるユーザ識別情報を情報取得要求に使用することを実行させる。

【 0 0 2 6 】

記録媒体のプログラムは、設定されたメールアドレスからサーバの登録ユーザであることを認識した後にユーザ識別情報を使用した情報取得要求を行うことを実行させる。記録媒体のプログラムは、ファイルを指定して送信操作が行われた際に、サーバへの前記接続情報を要求し、サーバから受信した接続情報を取得し、ファイルを転送することを実行させる。

【 0 0 2 7 】

記録媒体のプログラムは、サーバ間での取得要求および接続情報の受信をセキュリティ機能を有するプロトコルにて処理することを実行させる。ここでユーザ識別情報はアカウント名とパスワードである。

【 0 0 2 8 】

また本発明は、ネットワークを介してクライアントと接続されるコンピュータに、クライアントから情報取得要求を受信し、クライアントからユーザ識別情報を受信し、ユーザ識別情報を用いて得られるクライアントで設定すべき接続情報を前記クライアントに送信する、ことを実行させるプログラム（サーバ用プログラム）を記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体を提供する。

【 0 0 2 9 】

ここで、接続情報はクライアントからファイルを転送する際に用いられる情報である。記録媒体のプログラムは、コンピュータでホームページの開設サービスを提供し、クライアントから情報取得要求を受信した際に、ユーザ識別情報を用いてホームページの開設処理を行い、要求された情報をクライアントに送信することを実行させる。

【0030】

記録媒体のプログラムは、クライアントから情報取得要求を受信した際に、ユーザ識別情報で特定されるユーザに対応するホームページが未開設の場合に、開設処理を行うことを実行させる。このホームページ開設サービスは登録済みユーザに対して提供される。

【0031】

記録媒体のプログラムは、クライアント間との取得要求の受信および接続情報の送信をセキュリティ機能を有するプロトコルにて処理することを実行させる。ここでユーザ識別情報はアカウント名とパスワードである。

【0032】

【発明の実施の形態】

図2は本発明のネットワークシステムにおけるクライアント及びサーバの機能構成を示したブロック図である。

【0033】

図2において、本発明のネットワークシステムはインターネット14を介して接続されるクライアント10とサーバ12で構成され、サーバ12側にはクライアント10をユーザとして登録して各種のインターネット利用サービスを提供するプロバイダとして実現するためのソフトウェア機能が配置されている。

【0034】

クライアント10にはhttp sプロトコル処理部16、FTP（ファイル転送プロトコル）処理部18、公開ファイル指定部20、設定情報取得部22、ダイヤルアップ接続部24及び電子メール処理部26が設けられており、これに加えて図示しないWWWブラウザとしての機能を備えることはもちろんである。

【 0 0 3 5 】

クライアント 1 2 に設けている設定情報取得部 2 2 は、公開ファイル指定部 2 0 に対し、ホームページ処理部 3 2、設定情報提供部 3 4 及びユーザ情報登録部 3 6 が設けられている。

【 0 0 3 6 】

クライアント 1 0 とサーバ 1 2 は、モデム 1 5、3 5 によるインターネット 1 4 を経由したダイヤルアップ接続か、イーサネット等の LAN カード 2 5、4 5 を使用した LAN 1 7 による接続のいずれかを行う。

【 0 0 3 7 】

クライアント 1 0 の公開ファイル指定部 2 0 は、ユーザがサーバ 1 2 に公開ファイルを送信してホームページで公開させるための指定を行う。公開ファイル指定部 2 0 に対しユーザが公開ファイルを指定して送信操作を行うと、ダイヤルアップ接続部 2 4 が起動し、ユーザがアカウント名（ユーザ ID）とパスワードを入力すると、インターネット 1 4 を介してクライアント 1 0 の h t t p s プロトコル処理部 1 6 とサーバ 1 2 の h t t p s プロトコル処理部 2 8 との接続を確立する。

【 0 0 3 8 】

このようなダイヤルアップ接続が完了すると、クライアント 1 0 の設定情報取得部 2 2 は電子メール処理部 2 6 のメールアドレスを参照し、例えばアカウントやドメイン等のメールアドレスからユーザがサーバ 1 2 を用いるプロバイダの会員としてユーザ登録を受けているかどうかを認識する。

【 0 0 3 9 】

ユーザ登録を確認すると F T P 処理部 1 8 による接続情報の取得をサーバ 1 2 に要求する。このとき設定情報取得部 2 2 はダイヤルアップ接続部 2 4 の参照で、その設定入力からユーザのアカウント名とパスワードを取得し、このアカウント名とパスワードを付けてサーバ 1 2 に対し F T P 接続情報の取得要求を送信する。

【 0 0 4 0 】

クライアント 1 0 からの F T P 接続情報の取得要求はサーバ 1 2 の h t t p s

プロトコル処理部 28 で受信され、設定情報提供部 34 に与えられる。設定情報提供部 34 はクライアント 10 からのアカウント名とパスワードをユーザ情報登録部 36 の参照によりチェックし、設定情報取得要求を行ったユーザがユーザ登録されていることを確認し且つパスワードが一致した場合に、クライアント 10 からの F T P の接続情報の設定に必要な情報を F T P 処理部 30 から取得し、h t t p s プロトコル処理部 28 よりインターネット 14 を介しクライアント 10 に提供する。尚、ユーザ情報登録部 36 にはプロバイダによってアカウント名、パスワードなど会員であるユーザに関する情報が登録されている。

【0041】

このようにしてサーバ 12 に対する取得要求で必要な情報を受信すると、設定情報取得部 22 は F T P 接続情報について取得情報から自動設定を行い、F T P 処理部 18 によりインターネット 14 を介してサーバ 12 の F T P 処理部 30 との間の接続を確立する。

【0042】

インターネット 14 を介してクライアント 10 及びサーバ 12 の F T P 処理部 18, 30 の接続が確立すると、ファイル指定部 20 においてユーザが指定した公開ファイルがファイル転送プロトコル (F T P) に従ってサーバ 12 に転送され、F T P 処理部 30 で受信されてホームページ処理部 32 に与えられる。

【0043】

ここでサーバ 12 の設定情報提供部 34 にあっては、クライアントの設定情報取得部 22 よりアカウント名及びパスワードを使用した設定情報取得要求を受けた際にホームページ処理部 32 を参照してアカウント名に対応するユーザのホームページが開設されているか否か判断する。もしホームページが開設されていない場合には自動的にホームページを開設した後に、F T P 処理部 30 から新たに生成した F T P 接続用の情報をクライアント 10 側に送信するようになる。

【0044】

したがって、クライアント 10 はサーバ 12 より取得した F T P の接続情報の自動設定で F T P 処理部 18 から公開ファイルをサーバ 12 に転送する際には、サーバ 12 側にあっては既にホームページが開設された状態にあり、受信した公

開ファイルを既に開設されているホームページに対応するフォルダに格納することで、ファイル転送正常終了でホームページを公開可能とすることができる。もちろん、既にホームページが公開されている場合には、既にサーバ 1 2 に格納されている同じ名前のファイルをファイル転送でホームページを更新することになる。

【 0 0 4 5 】

図 3 は、図 2 のネットワークシステムにおけるホームページにファイルを公開する際の F T P 接続情報取得のための処理動作のタイムチャートである。

【 0 0 4 6 】

図 3 において、クライアント 1 0 は、まずステップ S 1 で例えばクライアント 1 0 上の任意のアプリケーションによりサーバ 1 2 のホームページに公開するファイル例えば H T M L ファイルを作成し、ファイル作成が完了するとステップ S 2 で公開ファイル指定部 2 0 によって公開するファイルを指定して送信操作を行う。

【 0 0 4 7 】

この公開ファイルの指定と送信操作に対し、ステップ S 3 で図 2 のようにクライアント 1 0 のサーバ 1 2 に対する接続が L A N 接続でなければ、ダイヤルアップ接続部 2 4 によりユーザがアカウント名（ユーザ I D）とパスワードを入力してダイヤルアップ接続を実行し、クライアント 1 0 の h t t p s プロトコル処理部 1 6 とサーバ 1 2 の h t t p s プロトコル処理部 2 8 との間に接続を確立する。

【 0 0 4 8 】

次にステップ S 4 で設定情報取得部 2 2 を起動することでサーバ 1 2 に対し F T P 接続情報の設定に必要な情報取得を要求し、更にステップ S 5 でダイヤルアップ接続部 2 4 の設定入力からユーザ I D としてのアカウント名とパスワードを取得して、これをサーバ 1 2 に送信する。

【 0 0 4 9 】

例えば、サーバ 1 2 のアドレスを「w w w . a a a . c o . j p」とし、C G I の格納フォルダを「c g i - b i n」とすると、このステップ S 4 のサーバ 1

2に対するFTP接続情報の取得要求は以下のように行われる。なお、「Get Data. cgi」ファイルは要求されたFTP接続情報の送信処理を行うと共に、ホームページ開設処理も行うプログラムである。

【0050】

まず、ステップS4にあっては、「www. aaa. co. jp」のアドレスをもつサーバを探してhttpsプロトコルで通信を開始し、この通信状態で「cgi-bin/Get Data. cgi」のファイルをオープンする要求を行う。

【0051】

サーバ12においては、クライアント10からの「Get Data. cgi」ファイルのオープン指示を受け、ファイル拡張子がcgiであるため「Get Data. cgi」ファイルを実行して後述する処理を行い、その処理結果をクライアント10に返送することになる。

【0052】

更にステップS5のユーザIDとパスワードの送信については、コマンドでいうと「Authorization: Basic user: password」のヘッダを追加送信することを意味する。例えば後述の例では、「user」として「abc123456」が設定され、「password」として「a a a b b b c c c」が設定される。

【0053】

このヘッダの追加送信における「user: password」の部分は、バイナリ形式を一旦テキスト形式に変換（エンコーディング）して送信し、受信側で元に戻すデコーディングを行っている。このエンコーディングとしては例えばBASE64が用いられている。

【0054】

クライアント10のステップS4及びS5によるFTP接続情報の取得要求及びユーザIDとパスワードの送信に対し、サーバ12はステップS101でクライアントからのユーザIDとパスワードの確認を行う。すなわちユーザ情報登録部36を参照してアカウント名からサーバ12を管理するプロバイダの登録会員

であることを認識し、且つパスワードの一致を認識する。

【0055】

続いてステップS102でユーザIDとしてのアカウント名に関連付けられたFTP接続情報の設定に必要な情報の検索をユーザ情報登録部36に対して行う。続いてステップS103で、ホームページが開設されていない場合にはホームページの開設を行う。このホームページの開設においては、ユーザに一意に対応するフォルダを自動生成する。このフォルダ名の自動生成としては、メールアドレスを使用するかアカウント名を使用するか、更には重複しないフォルダ名を作成し、そのフォルダ情報もユーザ情報登録部36に格納することになる。そしてステップS104でユーザ情報登録部36からクライアント10に対しFTP接続情報の設定に必要なユーザ情報を読み出して送信する。

【0056】

クライアント10は、ステップS6でサーバ12からのユーザ情報を受信してFTP接続情報を設定し、ステップS7でFTP接続作業を行い、ファイル転送プロトコル(FTP)に従ってサーバ12に対し指定した公開ファイルを転送し、サーバ12にステップS105でファイルを格納して公開準備を完了する。

【0057】

サーバ12に対するファイル格納が済むと、その完了応答を受けてクライアント10は、ステップS8で公開ページ参照可能を確認し、一連のファイル転送および公開処理を終了する。

【0058】

図4は図3のクライアントとサーバの間の転送処理におけるクライアント10側の処理画面の遷移を示した説明図である。

【0059】

図4において、まず公開するファイルを指定するためファイル公開画面40を開く。このファイル公開画面40には公開ファイル指定欄42が設けられており、この例では公開するファイル名として「C:¥My Documents¥aaa.html」が指定されている。このような公開ファイル名の指定状態で送信ボタン44を押すと、次のダイヤルアップ接続画面46に切り替わる。

【0060】

このダイヤルアップ接続にあっては、ユーザが接続先48としてダイヤルアップ接続設定名「aaa」を選択し、またユーザ名50として例えばアカウント名「abc123456」を入力し、更にパスワード52として例えば「aaa bbbccc」を入力するが、他のユーザがクライアントを使用してもパスワードを見られないようにするため、「*****」として表示される。

【0061】

このダイヤルアップ接続画面46について接続先、ユーザ名、パスワードを設定入力したならば、OKボタン54を操作することでダイヤルアップ接続が実行され、以後、図3におけるクライアント10のステップS4～S7の処理については遷移画面は表示されず、次の公開ファイル転送画面56となり、その転送シーケンスはユーザには特に見せない。そしてFTPによるファイル転送でサーバホームページでのファイル公開の準備が完了すると、次のファイル公開完了画面58に切り替わり、OKボタン60を操作することで一連のファイル公開処理を終了する。

【0062】

図5および図6は、FTPプロパティ画面からFTP接続情報の取得を行う様子を示した画面遷移の説明図である。尚、図4では公開ファイルをサーバ12に送信する操作によりFTP接続情報の自動取得処理が開始されることを示したが、図5および図6は、ユーザ設定操作からFTP接続情報の自動取得処理が開始される点で図4と異なる。

【0063】

図5の最初のFTPプロパティ画面62は、FTP接続情報の設定方法を選択する処理画面である。本発明の処理を実行するサーバ12を管理するプロバイダの会員の場合には、会員種別を示す2つのチェックボックスのうち、プロバイダ会員に対応するチェックボックスを選択する。その選択によりメールアドレスなどからプロバイダ登録会員の確認が行われ、プロバイダ登録会員であることが認識されると自動取得ボタン64が選択可能となる。

【0064】

また、詳細設定ボタン 6 6 は F T P 接続情報の表示を行うためのボタンであり、このボタンが選択されることで、F T P 詳細設定画面 7 0 として現在設定されている F T P 接続情報が表示される。

【 0 0 6 5 】

尚、本発明の処理を実行可能とするプロバイダ以外のプロバイダ会員の場合は、他のプロバイダ会員に対応するチェックボックスを選択し、この詳細設定ボタン 6 6 を操作して表示される F T P 詳細設定画面 7 0 において手動で F T P 接続情報を入力する作業を行う必要がある。この F T P 詳細設定画面 7 0 に示すように、初期状態では F T P 設定情報が設定されていない。

【 0 0 6 6 】

F T P プロパティ画面 6 2 において自動取得ボタン 6 4 を操作すると、F T P 接続情報の自動取得開始と会員の確認を促すメッセージを表示する F T P 接続情報取得画面 8 8 に遷移する。

【 0 0 6 7 】

本発明の処理を実行可能とするプロバイダの会員の場合は、O K ボタン 9 0 を操作することで自動取得処理が開始され、インターネット経由でサーバ 1 2 側にユーザ登録されていることを条件に、図 3 のステップ S 4 におけるサーバ 1 2 に対する F T P 接続情報の取得要求及びステップ S 5 のユーザ I D とパスワードの送信処理が行われる。尚、他のプロバイダ会員の場合や自動取得処理を中止したい場合にはキャンセルボタンを操作すればよい。

【 0 0 6 8 】

続いて図 6 の F T P 接続情報取得実行画面 9 0 に切り替わり、ダイヤルアップ接続を実行した後に、h t t p s プロトコルに従ってサーバ 1 2 に F T P 接続情報の取得を要求し且つユーザ I D (アカウント名)とパスワードを送信する。続いて F T P 接続情報取得画面 9 2 に遷移し、この画面状態でサーバから F T P 接続情報の設定に必要なユーザ情報が取得され、O K ボタン 9 4 を押すことで処理を終了し、F T P プロパティ画面 6 2 の表示に遷移する。

【 0 0 6 9 】

この F T P プロパティ画面 6 2 において詳細設定ボタン 6 6 をクリックすると

、同様な処理によって取得された情報が設定されFTP詳細設定画面96が表示される。このFTP詳細設定画面96にはサーバから取得した情報に基づき、FTPサーバ名72、FTPアカウント名74、FTPパスワード76、ホームページURL78、ホームページフォルダ名80、更にperlのパス82、自作CGIURL84、自作CGIフォルダ名88が設定されている。

【0070】

ここでperlのパス82は、FTPサーバでCGI (Common Gateway Interface) を実行するために必要なperl (CGI処理用のプログラム言語) のパスの入力である。また自作CGIURL84はユーザが作成するCGIのURLを入力し、更にCGIフォルダ88はFTPサーバ上でユーザのCGIファイルが置かれるフォルダを入力している。

【0071】

このFTP情報設定画面96に表示された設定情報は、図7に示すサーバ12からのFTP自動取得結果としての通知情報95から抽出して設定している。

【0072】

図8は、図2のネットワークシステムにおけるクライアント10に設けている設定情報取得部22の処理動作を示したフローチャートである。図8において、ステップS1で公開ファイル指定部20などによるユーザからのFTP接続要求を受信すると、ステップS2でFTP処理部18にFTP接続情報が設定されているか否かチェックする。

【0073】

設定されていない場合にはステップS3に進み、電子メール処理部26に設定しているメールアドレスを取得し、このメールアドレスから、ステップS4でFTP情報自動取得に対応したサーバ12側のプロバイダの会員か否かチェックする。

【0074】

サーバ12にユーザとして登録された会員であれば、ステップS5に進み、ネットワークへの接続はダイヤルアップ接続かあるいはLAN接続かをチェックし、ダイヤルアップ接続であればステップS6に進み、ダイヤルアップ接続の設定

入力からアカウントとパスワードを取得し、ステップS7でFTP接続情報の自動取得を行う。

【0075】

即ち図3のステップS4、S5に示したように、サーバ12に対しFTP接続情報の取得要求を行うと共に、ユーザIDとパスワードを送信し、サーバ12から要求した情報を自動取得し、FTP接続情報に設定する。

【0076】

このようにしてFTP接続情報の自動取得による設定が済むと、ステップS8でFTP接続を行ってクライアントからサーバに、ホームページに公開するファイルを転送し、一連のクライアント処理を終了する。一方、ステップS2で既にFTP接続情報が設定されている場合には、ステップS8でFTP接続を行ってクライアント10からファイルをサーバ12に転送する。

【0077】

またステップS4でメールアドレスを取得して解析した結果、FTP情報自動取得に対応したサーバを管理しているプロバイダ登録会員でなかった場合には、ステップS10のFTP情報の手動設定を行う。このFTP情報の手動設定は、具体的には図5のFTPプロパティ画面62の詳細設定ボタン66を操作することで次のFTP詳細設定画面70を開き、ここにユーザが必要な接続情報を手動で入力する。

【0078】

更にステップS5でネットワークへの接続がダイヤルアップ接続でなくLAN接続であった場合には、ステップS11に進み、LAN接続画面に対しユーザがアカウントとパスワードを入力することで、ステップS7に進んで、それらの入力情報を用いてFTP接続情報の自動取得を行い、ステップS8でFTP接続によるファイル転送を行う。

【0079】

図9は、図2のネットワークシステムにおけるサーバ12に設けている設定情報提供部34の処理動作を示したフローチャートである。

【0080】

図9において、ステップS1でクライアント10からの情報の取得要求を受信すると、ステップS2でユーザIDとパスワードを受信し、ステップS3で指定されたユーザIDのユーザが存在するか否かユーザ情報登録部36を参照して判定する。

【0081】

指定されたユーザIDのユーザが存在することが判定されると、ステップS4に進み、パスワードが一致するか否かチェックする。パスワードが一致したならば、ステップS5で情報の取得要求を行っているユーザについてホームページを開設しているか否かチェックする。

【0082】

ホームページを開設していない場合にはステップS6に進み、ホームページを自動開設する。既に開設していればステップS6の処理はスキップする。最終的にステップS7でFTP接続情報をクライアントに送信する。

【0083】

ここで、ステップS3で指定されたユーザIDのユーザが存在しない場合には、ステップS8でエラーを送信し、またステップS4でパスワードが不一致となった場合にもステップS9でエラーを送信することになる。

【0084】

以上説明した本発明の処理を実行するクライアント10及びサーバ12は、公知のコンピュータのハード構成を採る。

【0085】

すなわち、CPU、主記憶装置(RAM)、補助記憶装置(ハードディスクやその他の外部記憶装置)、モデムやLANカードなどの通信制御装置を主たる構成要素として備え、各構成要素間で情報の授受を可能とするためにシステムバスにて連結された構成である。

【0086】

クライアント10においては、コンピュータにディスプレイが接続されて上記の画面表示が行われ、マウスやキーボードなどの入力装置が接続されてディスプレイに表示された画面に対するユーザ操作が行われる。なお、サーバ12におい

ては、ディスプレイ及びキーボードは必須の構成ではない。

【0087】

また、クライアント10及びサーバ12には、CD-ROMやフロッピーディスクなどの可搬形記録媒体に記録された本発明のプログラムをコンピュータにインストールする、または直接実行するために、その可搬形記録媒体から情報を読み出すための記録媒体対応のドライブを備えても良い。

【0088】

さらに、本発明のプログラムはネットワークを介して接続される他装置の記録媒体に記録され、通信制御装置を利用してダウンロードして取得し、自装置の補助記憶装置や主記憶装置に格納するようにしても良い。

【0089】

以上のコンピュータの構成において、補助記憶装置や可搬形記録媒体又は他装置に記録された本発明のプログラムは実行指示を受け、または他装置からダウンロードされて主記憶装置に展開され、本発明の処理をCPUに実行させることでクライアント10やサーバ12を上記説明した各処理部として動作させる。

【0090】

尚、本発明は上記の実施形態に限定されず、その目的と利点を損なわない適宜の変形を含む。また本発明は上記の実施形態に示した数値による限定は受けない。

(付記1)

クライアントとサーバで構成されるネットワークシステムに於いて、
前記クライアントに設けられ、
ユーザ識別情報を使用した情報取得要求にて接続情報を前記サーバに要求し、その応答として受信する接続情報を設定する設定情報取得部と、
前記サーバに設けられ、
前記クライアントから受信した前記ユーザ識別情報を用いて得られる接続情報をクライアントに送信する設定情報提供部と、
を備えたことを特徴とするネットワークシステム。(1)

(付記 2)

付記 1 記載のネットワークシステムに於いて、
前記接続情報は前記クライアントから前記サーバにファイルを転送する際に用いられる情報であることを特徴とするネットワークシステム。

【 0 0 9 1 】

(付記 3)

付記 1 記載のネットワークシステムに於いて、
前記設定情報取得部は、ネットワークへの接続がダイヤルアップ接続の場合に、ダイヤルアップ接続の設定入力から前記情報取得要求に使用するユーザ識別情報を取得することを特徴とするネットワークシステム。

【 0 0 9 2 】

(付記 4)

付記 3 記載のネットワークシステムに於いて、
前記設定情報取得部は、ネットワークへの接続が前記ダイヤルアップ接続以外の場合に、ユーザから入力されるユーザ識別情報を前記情報取得要求に使用することを特徴とするネットワークシステム。

【 0 0 9 3 】

(付記 5)

付記 1 記載のネットワークシステムに於いて、
前記設定情報取得部は、設定されたメールアドレスから前記サーバの登録ユーザであることを認識した後に前記ユーザ識別情報を使用した情報取得要求を行うことを特徴とするネットワークシステム。

【 0 0 9 4 】

(付記 6)

付記 1 記載のネットワークシステムに於いて、
前記サーバはホームページの開設サービスを提供しており、前記クライアントからの情報取得要求を受信した際に、前記ユーザ識別情報を用いてホームページの開設処理を行った後に、要求された情報を前記クライアントに送信することを特徴とするネットワークシステム。

【 0 0 9 5 】

(付記 7)

付記 6 記載のネットワークシステムに於いて、
前記サーバは、前記クライアントから情報取得要求を受信した際に、前記ユーザ識別情報で特定されるユーザに対応するホームページが未開設の場合に、前記開設処理を行うことを特徴とするネットワークシステム。

【 0 0 9 6 】

(付記 8)

付記 6 又は 7 記載のネットワークシステムに於いて、
前記ホームページ開設サービスは登録済みユーザに対して提供されることを特徴とするネットワークシステム。

【 0 0 9 7 】

(付記 9)

付記 2 記載のネットワークシステムに於いて、
前記クライアントは、ファイルを前記サーバに転送する転送処理部を備え、
ファイルを指定して送信操作が行われた際に、前記設定情報取得部を起動して前記サーバから接続情報を取得し、前記転送処理部により前記ファイルを転送することを特徴とするネットワークシステム。

【 0 0 9 8 】

(付記 1 0)

付記 1 記載のネットワークシステムに於いて、
前記クライアントの設定情報取得部と前記サーバの接続情報提供部間での前記接続情報の取得要求と応答をセキュリティ機能を有するプロトコルにて処理することを特徴とするネットワークシステム。

【 0 0 9 9 】

(付記 1 1)

付記 1 記載のネットワークシステムに於いて、
前記ユーザ識別情報はアカウント名とパスワードであることを特徴とするネットワークシステム。

【0100】

(付記12)

ネットワークを介してサーバに接続されるクライアントに於いて、ユーザ識別情報を使用した情報取得要求にて接続情報を前記サーバに要求し、その応答として前記サーバから受信する接続情報を設定する設定情報取得部、を備えたことを特徴とするクライアント。(2)

(付記13)

付記12記載のクライアントに於いて、前記接続情報は前記クライアントから前記サーバにファイルを転送する際に用いられる情報であることを特徴とするクライアント。(3)

(付記14)

付記12記載のクライアントに於いて、前記設定情報取得部は、ネットワークへの接続がダイヤルアップ接続の場合に、ダイヤルアップ接続の設定入力から前記情報取得要求に使用するユーザ識別情報を取得することを特徴とするクライアント。(4)

(付記15)

付記14記載のクライアントに於いて、前記設定情報取得部は、ネットワークへの接続が前記ダイヤルアップ接続以外の場合に、ユーザから入力されるユーザ識別情報を前記情報取得要求に使用することを特徴とするクライアント。

【0101】

(付記16)

付記12記載のクライアントに於いて、前記設定情報取得部は、設定されたメールアドレスから前記サーバの登録ユーザであることを認識した後に前記ユーザ識別情報を使用した情報取得要求を行うことを特徴とするクライアント。

【0102】

(付記17)

付記13記載のクライアントに於いて、

ファイルを前記サーバに転送する転送処理部を備え、
ファイルを指定して送信操作が行われた際に、前記設定情報取得部を起動して前記サーバから接続情報を取得し、前記転送処理部により前記ファイルを転送することを特徴とするクライアント。

【0103】

(付記18)

付記12記載のクライアントに於いて、
前記設定情報取得部は、前記サーバ間との前記取得要求および前記接続情報の受信をセキュリティ機能を有するプロトコルにて処理することを特徴とするクライアント。

【0104】

(付記19)

付記12記載のクライアントに於いて、
前記ユーザ識別情報はアカウント名とパスワードであることを特徴とするクライアント。

【0105】

(付記20)

ネットワークを介してクライアントと接続されるサーバに於いて、
前記クライアントから情報取得要求を受信すると共に受信したユーザ識別情報を用いて得られる前記クライアントで設定すべき接続情報をクライアントに送信する設定情報提供部を備えることを特徴とするサーバ。(5)

(付記21)

付記20記載のサーバに於いて、
前記接続情報は前記クライアントからファイルを転送する際に用いられる情報であることを特徴とするサーバ。(6)

(付記22)

付記20記載のサーバに於いて、
ホームページの開設サービスを提供しており、前記クライアントからの情報取得要求を受信した際に、前記ユーザ識別情報を用いてホームページの開設処理を行

った後に、要求された情報を前記クライアントに送信することを特徴とするサーバ。(7)

(付記 2 3)

付記 2 2 記載のサーバに於いて、
前記クライアントから情報取得要求を受信した際に、前記ユーザ識別情報で特定されるユーザに対応するホームページが未開設の場合に、前記開設処理を行うことを特徴とするサーバ。

【0 1 0 6】

(付記 2 4)

付記 2 0 記載のサーバに於いて、
前記ホームページ開設サービスは登録済みユーザに対して提供されることを特徴とするサーバ。

【0 1 0 7】

(付記 2 5)

付記 2 0 記載のサーバに於いて、
前記設定情報提供部は前記クライアント間との前記取得要求の受信および前記接続情報の送信をセキュリティ機能を有するプロトコルにて処理することを特徴とするサーバ。

【0 1 0 8】

(付記 2 6)

付記 2 0 記載のサーバに於いて、
前記ユーザ識別情報はアカウント名とパスワードであることを特徴とするサーバ。

【0 1 0 9】

(付記 2 7)

ネットワークを介してサーバに接続されるコンピュータに、
ユーザ識別情報を使用した情報取得要求にて接続情報を前記サーバに要求し、
その応答として前記サーバから受信する接続情報を設定する、
ことを実行させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

(8)

(付記 28)

付記 27 記載の記録媒体に於いて、
前記接続情報は前記サーバに対してファイルを転送する際に用いられる情報であることを特徴とする記録媒体。(9)

(付記 29)

付記 27 記載の記録媒体に於いて、
前記コンピュータがネットワークへの接続にダイヤルアップ接続を利用する場合に、ダイヤルアップ接続の設定入力から前記情報取得要求に使用するユーザ識別情報を取得する、ことを実行させる前記プログラムを記録した記録媒体。

【0110】

(付記 30)

付記 29 記載の記録媒体に於いて、
前記コンピュータがネットワークへの接続に前記ダイヤルアップ接続以外を利用する場合に、ユーザから入力されるユーザ識別情報を前記情報取得要求に使用する、ことを実行させる前記プログラムを記録した記録媒体。

【0111】

(付記 31)

付記 27 記載の記録媒体に於いて、
設定されたメールアドレスから前記サーバの登録ユーザであることを認識した後
に前記ユーザ識別情報を使用した情報取得要求を行う、ことを実行させる前記プログラムを記録した記録媒体。

【0112】

(付記 32)

付記 27 記載の記録媒体に於いて、
ファイルを指定して送信操作が行われた際に、前記サーバへの前記接続情報を要求し、
前記サーバから受信した接続情報を取得し、
前記ファイルを転送する、ことを実行させる前記プログラムを記録した記録媒体

【0113】

(付記33)

付記27記載の記録媒体に於いて、
前記サーバ間での前記取得要求および前記接続情報の受信をセキュリティ機能を
有するプロトコルにて処理する、ことを実行させる前記プログラムを記録した記
録媒体。

【0114】

(付記34)

付記27記載の記録媒体に於いて、
前記ユーザ識別情報はアカウント名とパスワードであることを特徴とする記録媒
体。

【0115】

(付記35)

ネットワークを介してクライアントと接続されるコンピュータに、
前記クライアントから情報取得要求を受信し、
前記クライアントからユーザ識別情報を受信し、
前記ユーザ識別情報を用いて得られる前記クライアントで設定すべき接続情報を
前記クライアントに送信する、
ことを実行させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

(10)

(付記36)

付記35記載の記録媒体に於いて、
前記接続情報は前記クライアントからファイルを転送する際に用いられる情報で
あることを特徴とする記録媒体。

【0116】

(付記37)

付記35記載の記録媒体に於いて、
前記コンピュータはホームページの開設サービスを提供し、

前記クライアントから情報取得要求を受信した際に、前記ユーザ識別情報を用いてホームページの開設処理を行い、
要求された情報を前記クライアントに送信する、ことを実行させる前記プログラムを記録した記録媒体。

【 0 1 1 7 】

(付記 3 8)

付記 3 7 記載の記録媒体に於いて、
前記クライアントから情報取得要求を受信した際に、前記ユーザ識別情報で特定されるユーザに対応するホームページが未開設の場合に、前記開設処理を行う、ことを実行させる前記プログラムを記録した記録媒体。

【 0 1 1 8 】

(付記 3 9)

付記 3 7 記載の記録媒体に於いて、
前記ホームページ開設サービスは登録済みユーザに対して提供されることを特徴とする記録媒体。

【 0 1 1 9 】

(付記 4 0)

付記 3 5 記載の記録媒体に於いて、
前記クライアント間との前記取得要求の受信および前記接続情報の送信をセキュリティ機能を有するプロトコルにて処理する、ことを実行させる前記プログラムを記録した記録媒体。

【 0 1 2 0 】

(付記 4 1)

付記 3 5 記載の記録媒体に於いて、
前記ユーザ識別情報はアカウント名とパスワードであることを特徴とする記録媒体。

【 0 1 2 1 】

【発明の効果】

以上説明してきたように本発明によれば、クライアントからユーザ識別情報を使用した情報取得要求にて接続情報をサーバに要求し、その応答として受信する接続情報を設定することで、クライアントからサーバに接続するために必要な接続情報を自動的に設定でき、ホームページ領域等にファイルを転送して簡単且つ容易に公開可能とすることができる。

【 0 1 2 2 】

クライアントをサーバに接続するために必要な情報をユーザ入手することは煩雑であり、また入手した情報を設定入力する際に入力ミスにを起すと手間と時間が掛かるが、本発明にあってはサーバと接続するために必要な情報の設定に関する処理は実質的に不必要であり、極めて簡単且つ容易にクライアントからサーバホームページ領域等にファイルを転送して公開することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の原理説明図

【図 2】

本発明のクライアント及びサーバの機能構成のブロック図

【図 3】

本発明による F T P 接続情報を取得するクライアントとサーバ処理のタイムチャート

【図 4】

ホームページにファイルを公開する場合のクライアント処理画面の遷移説明図

【図 5】

本発明で F T P 接続情報を取得する際のクライアント処理画面の遷移説明図

【図 6】

図 5 に続くクライアント処理画面の遷移説明図

【図 7】

サーバから自動取得した F T P 接続情報の説明図

【図 8】

図2のクライアント処理のフローチャート

【図9】

図2のサーバ処理のフローチャート

【符号の説明】

- 10 : クライアント
- 12 : サーバ
- 14 : インターネット
- 15, 35 : モデム
- 16, 28 : https プロトコル処理部
- 17 : LAN
- 18, 30 : FTP 処理部
- 20 : 公開ファイル指定部
- 22 : 設定情報取得部
- 24 : ダイヤルアップ接続部
- 25, 45 : LANカード
- 26 : 電子メール処理部
- 32 : ホームページ処理部
- 34 : 設定情報提供部
- 36 : ユーザ情報登録部
- 40 : ファイル公開指定画面
- 44 : 送信釦
- 46 : ダイヤルアップ接続画面
- 48 : 公開ファイル転送画面
- 50 : ファイル公開完了画面
- 62 : FTPプロパティ画面
- 70 : FTP詳細設定画面
- 88 : FTP接続情報取得画面
- 90 : FTP接続情報取得画面

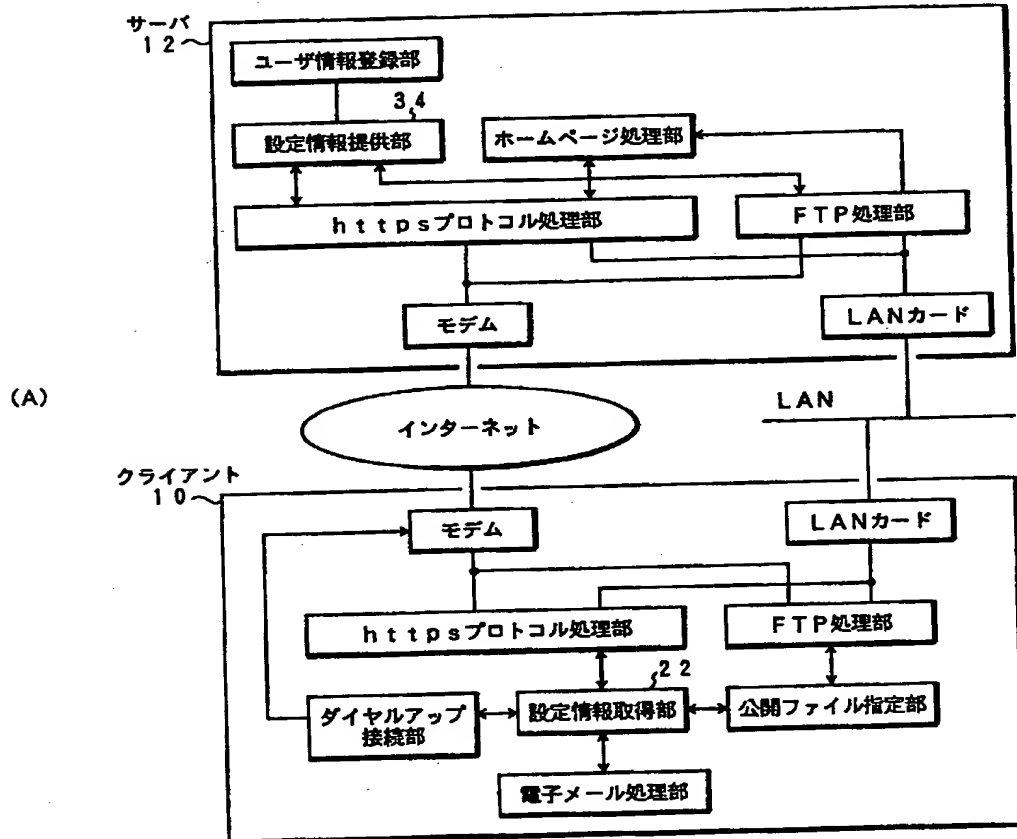
9 2 : F T P 詳細設定画面 (自動取得画面)

【書類名】

図面

【図 1】

本発明の原理説明図



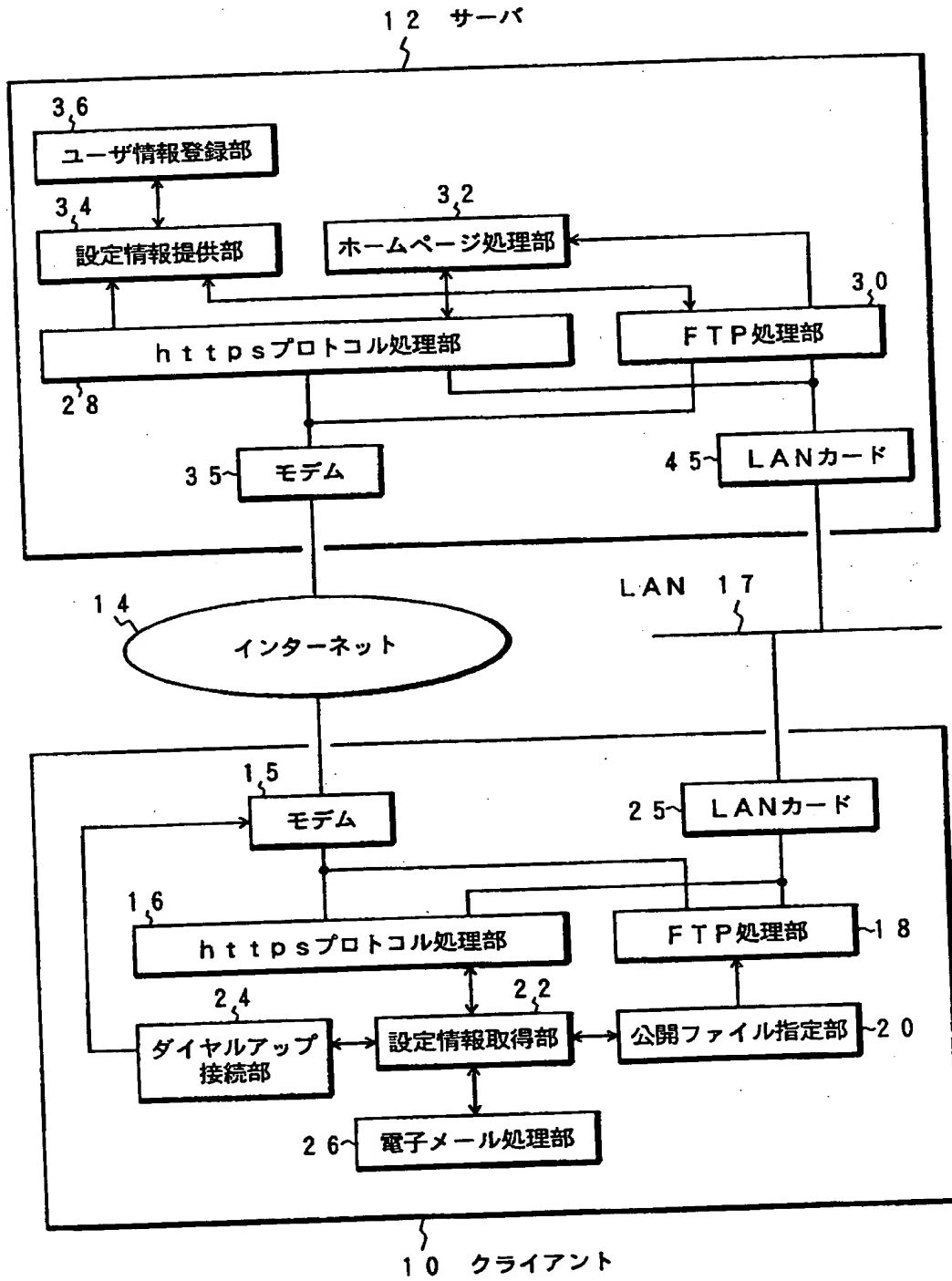
(B)

FTP詳細

FTPサーバ名(S):	ftp.aaa.com
FTPアカウント(A):	abc123456
FTPパスワード(P):	*****
ホームページURL(U):	http://www.aaa.com/abc123456/
ホームページフォルダ(F):	public
perlのパス(D): /usr/bin/perl	
自作CGIURL(C):	http://www.aaa.com/abc123456/cgi-bin/
自作CGIフォルダ(G):	cgi-bin
閉じる	

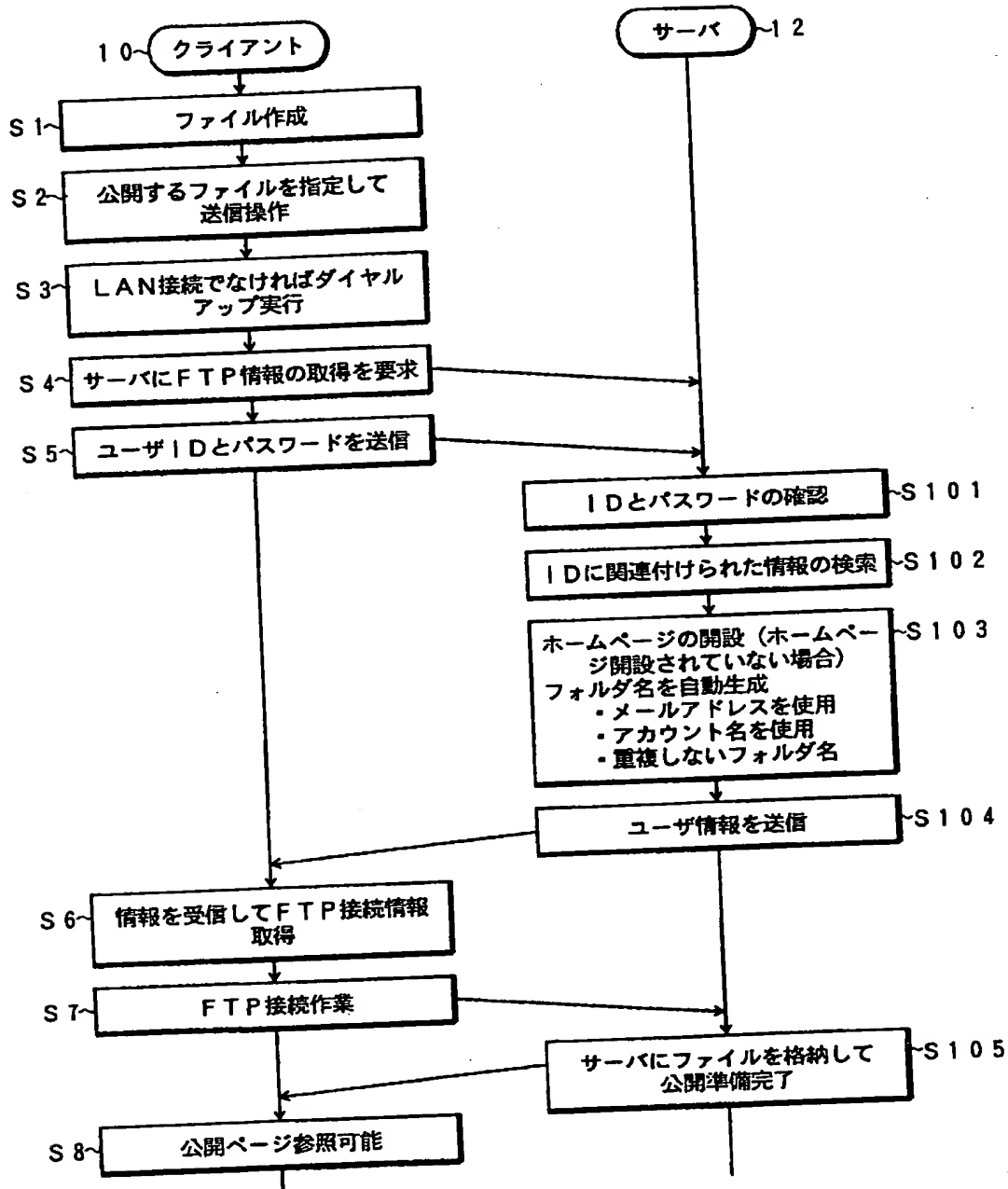
【図 2】

本発明のクライアント及びサーバの機能構成のブロック図



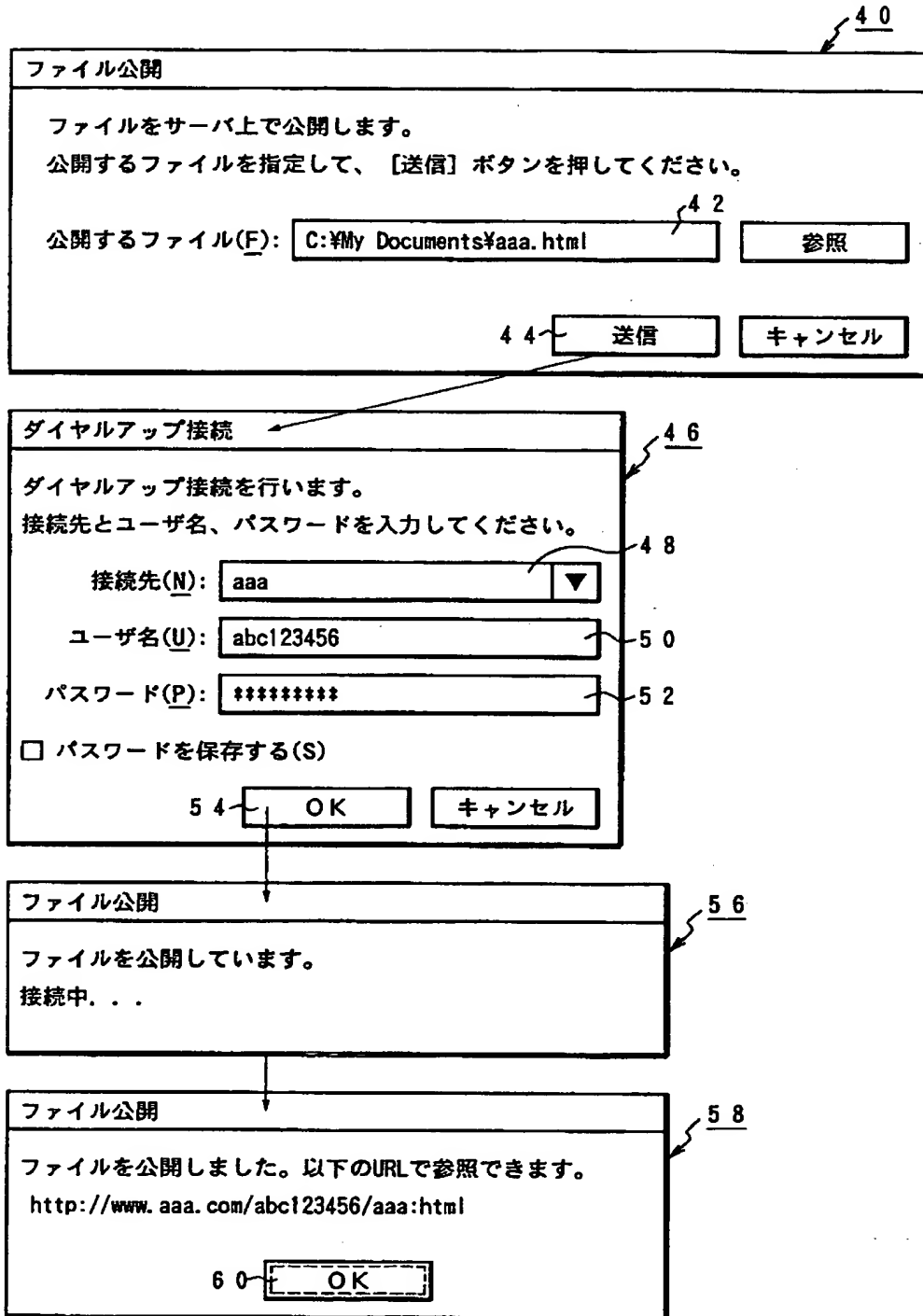
【図3】

本発明によるFTP接続情報を取得するクライアントとサーバ処理のタイムチャート



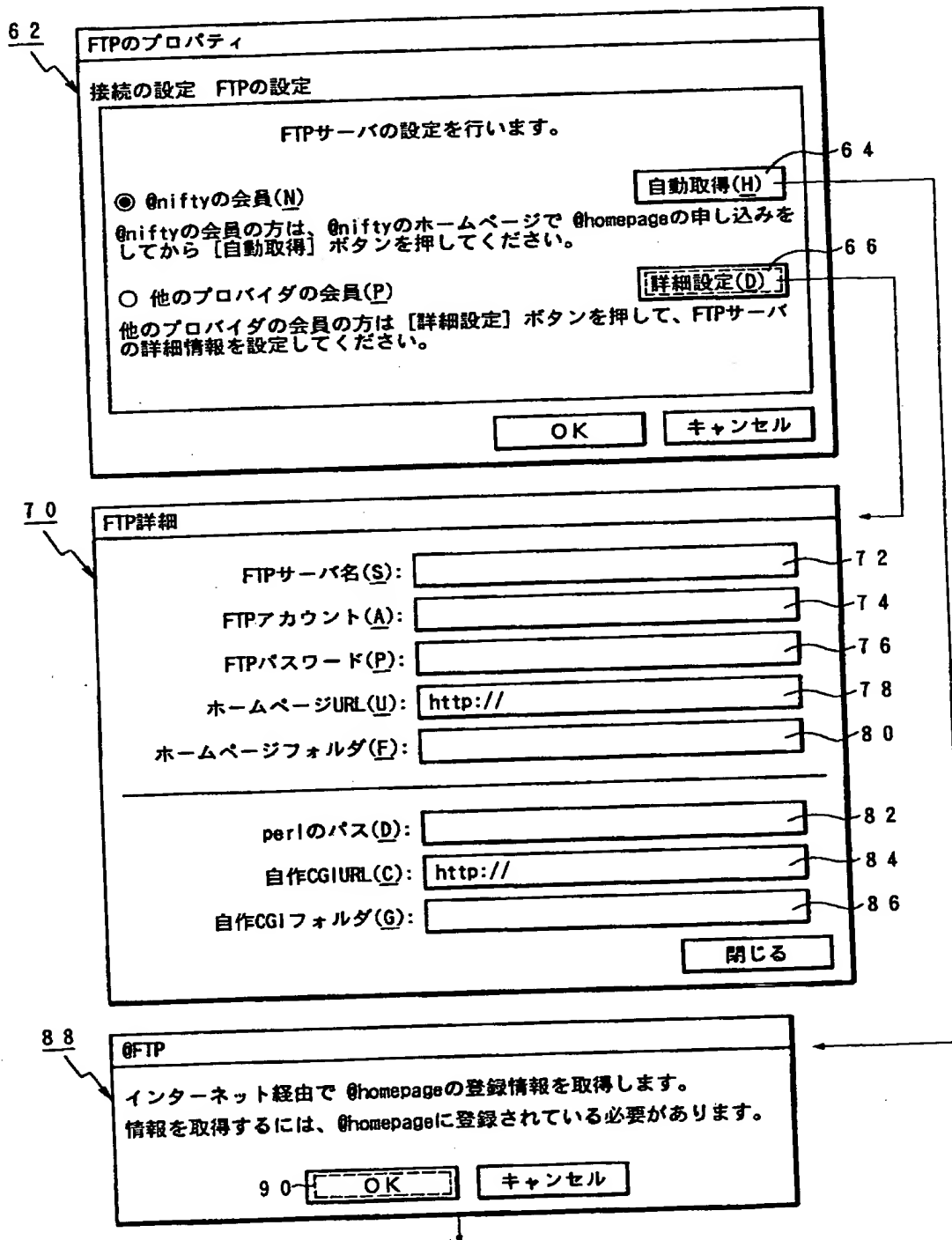
【図 4】

ホームページにファイルを公開する場合のクライアント処理画面の遷移説明図



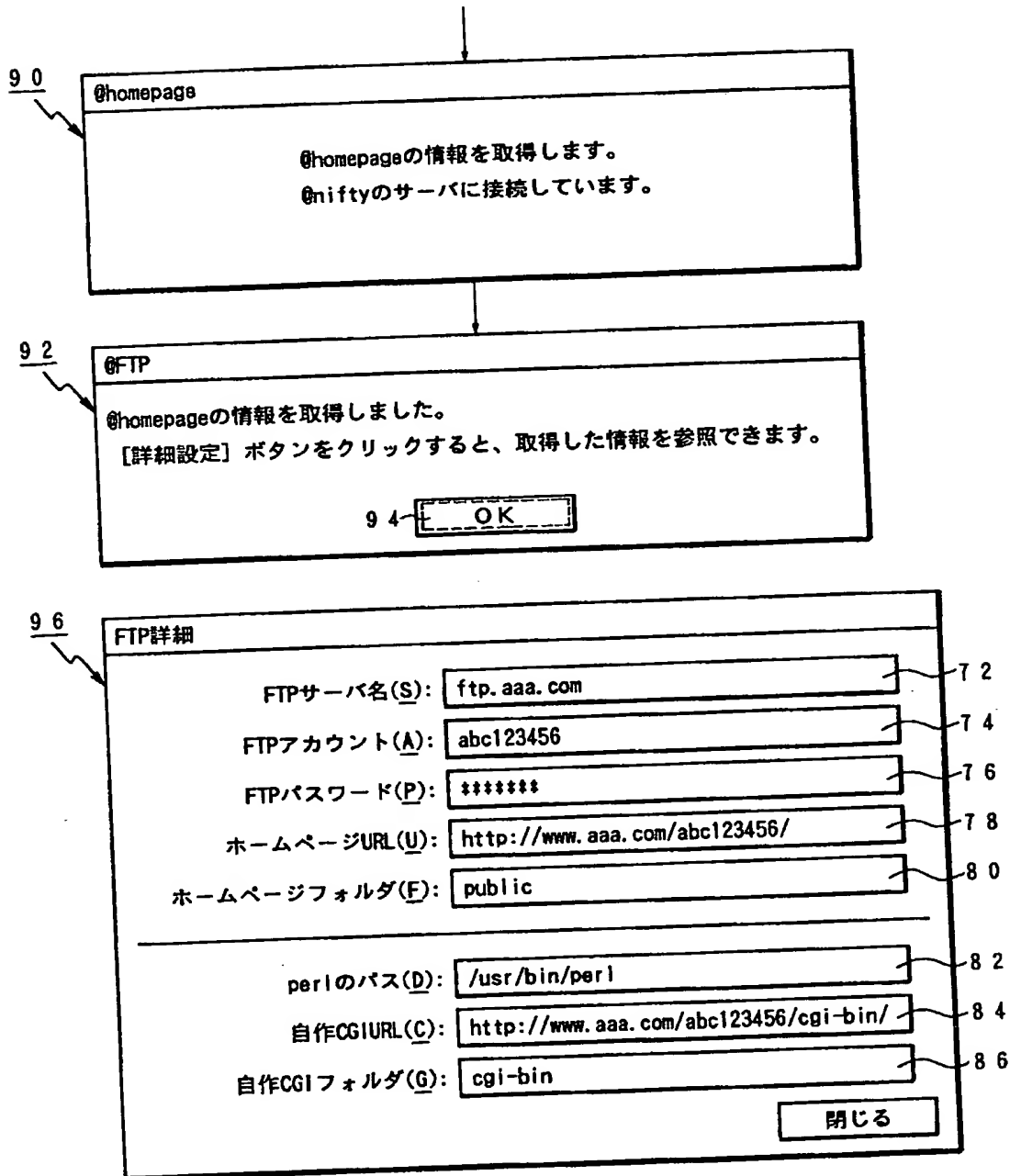
【図5】

本発明でFTP接続情報を取得する際のクライアント処理画面の遷移説明図



【図 6】

図 5 に続くクライアント処理画面の遷移説明図



【図 7】

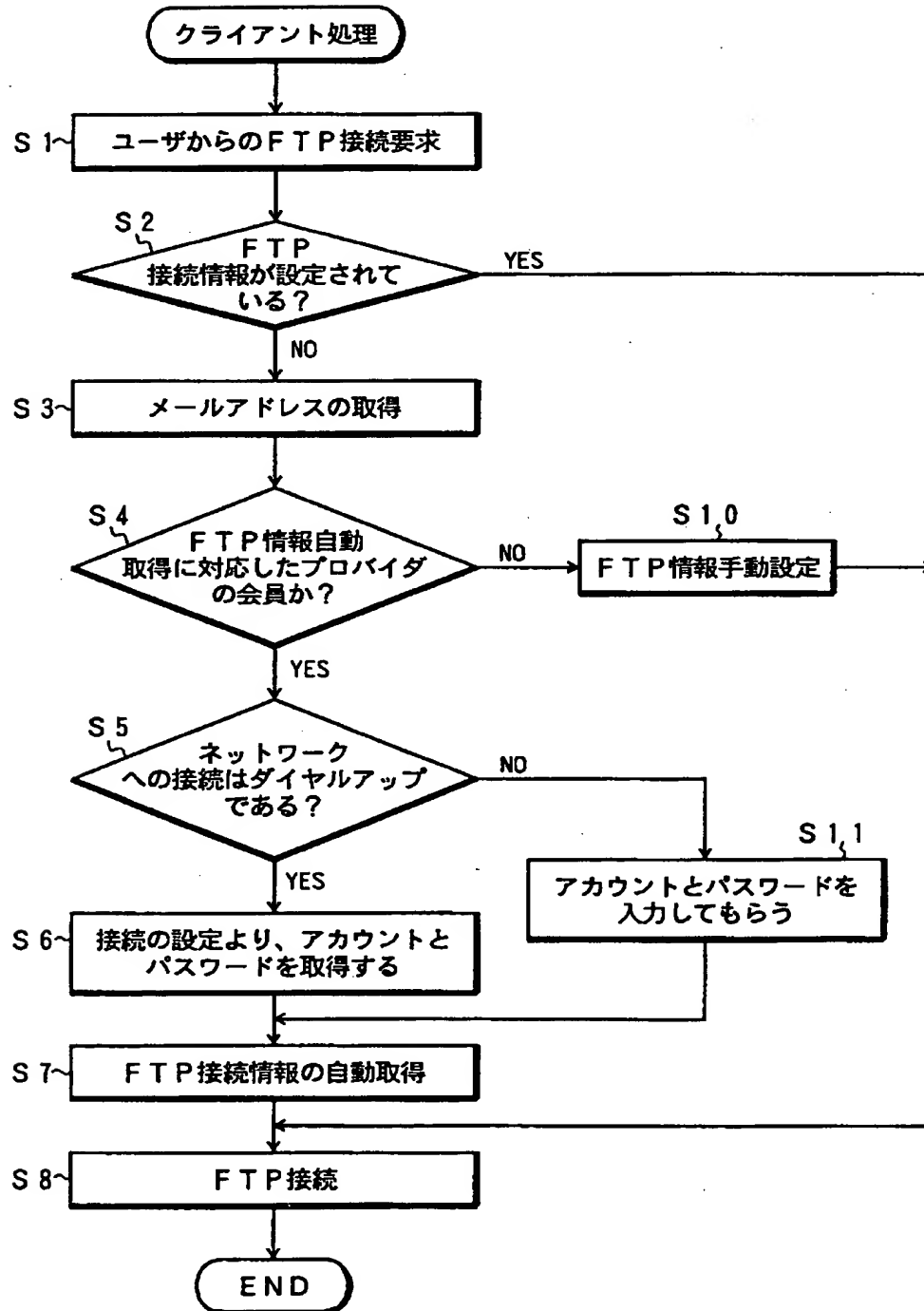
サーバから自動取得した F T P 接続情報の説明図

9 5

```
<META HTTP-EQUIV="Content-type" CONTENT="text/html; char=x-sjis">
<HTML>
<BODY>
AHP PROFILE V1.0<BR>
FTP-SVR:ftp.aaa.com<BR>
FTP-ACC:abc123456<BR>
FTP-PASS:AAABBBCCC<BR>
HOMEDIR:public<BR>
CGIDIR:cgi-bin<BR>
HOMEURL:http://www.aaa.com/abc123456/<BR>
CGIURL:http://www.aaa.com/abc123456/cgi-bin/<BR>
PERLPATH:/usr/bin/perl<BR>
</BODY>
</HTML>
```

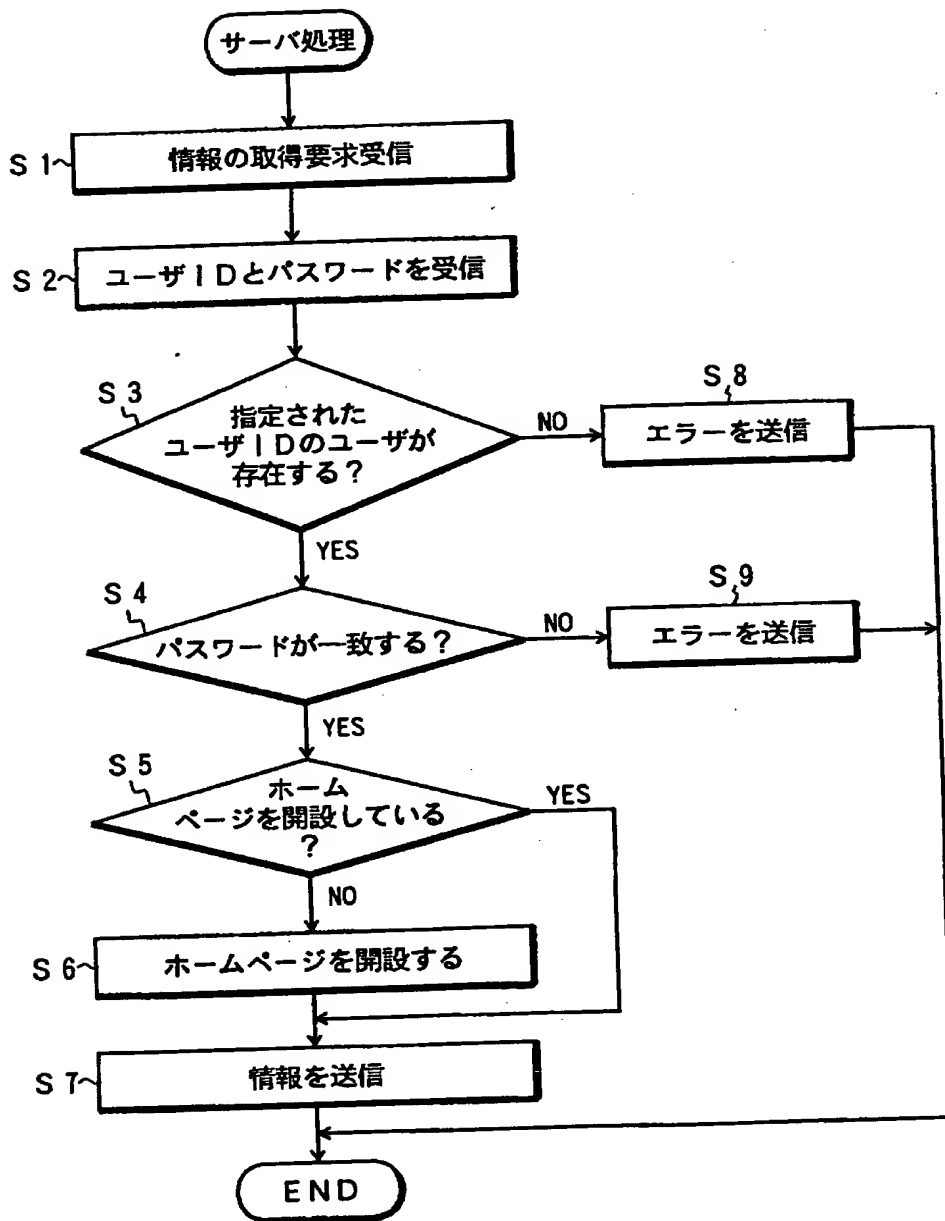
【図 8】

図 2 のクライアント処理のフローチャート



【図9】

図2のサーバ処理のフローチャート



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ユーザによる情報の設定を必要とすることなくホームページ領域等にファイルを転送して簡単且つ容易に公開可能とする。

【解決手段】 ネットワークシステムはクライアント 1 0 とサーバ 1 2 で構成される。クライアント 1 0 にはユーザ識別情報を使用した情報取得要求にて接続情報をサーバ 1 2 に要求し、その応答として受信する接続情報を設定する設定情報取得部 2 2 が設けられる。サーバ 1 2 には、クライアント 1 0 から受信したユーザ識別情報を用いて得られる接続情報をクライアント 1 0 に送信する設定情報提供部 3 4 が設けられる

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日 1996年 3月26日

[変更理由] 住所変更

住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

氏 名 富士通株式会社